

平成 31 年度（2019 年度）

# 千葉大学工学部

私費外国人留学生入試 学生募集要項

平成 30 年（2018 年）6 月

# 目 次

工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	1
<b>I 日本留学試験利用による選抜</b>	
1. 募集する学科・コース及び募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 個別の入学資格審査	4
4. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	6
5. 出願手続等	6
6. 入学者選抜	9
7. 合格者発表	9
8. 入学手続等	9
<b>II 日本大学連合学力試験利用による選抜</b>	
1. 募集する学科・コース及び募集人員	11
2. 出願資格	11
3. 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談	11
4. 出願手続等	12
5. 入学者選抜	14
6. 合格者発表	14
7. 入学手続等	14
<b>III コースの紹介</b>	16
<b>IV 入学後の教育について</b>	21
千葉大学案内図，工学部 学部学務グループ問い合わせ先	裏表紙

工学部ホームページ <http://www.f-eng.chiba-u.jp/>

平成 30 年度（2018 年度）工学部私費外国人留学生入試 実施状況

募集学科・コース		募集人員	受験者数			合格者数		
			男	女	計	男	女	計
総合工学科	建築学コース	若干名	3	2	5	1	2	3
	都市環境システムコース	若干名	0	1	1	-	1	1
	デザインコース	若干名	0	0	0	-	-	-
	機械工学コース	若干名	8	1	9	1	0	1
	医工学コース	若干名	1	2	3	1	0	1
	電気電子工学コース	若干名	4	0	4	2	-	1
	物質科学コース	若干名	1	0	1	1	-	1
	共生応用化学コース 日本大学連合学力試験利用による 選抜を含む	若干名	5	4	9	1	2	3
情報工学コース	若干名	9	2	11	1	1	2	
合 計		若干名	31	12	43	8	6	14

## 工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

### 【工学部入学者受入れの方針】

#### ・工学部の求める入学者

現代社会では、豊かな暮らしを目指して効率性や利便性を追求するだけでなく、人と環境にやさしい配慮も求められています。工学部では、工学教育の伝統的な専門性を尊重しながらも、その枠を超えて互いの連携・融合を図ることにより、常に、広範な社会的要請に応えられる専門教育システムの確立に努めています。そして、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践できる工学技術者・研究者の育成を目指します。

私たちは、工学を「豊かな人間社会の構築を目指す実践の学問」と考えています。社会と環境を支える技術者・研究者を育成する工学部では、

1. 「なぜ」を問う好奇心・探究心
2. 「何をなすべきか」を主体的に考える力
3. 「いかにして」を構想し、実践する力

を修得することに、興味と資質を有する人材を求めます。

#### ・入学者選抜の基本方針

本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施します。

##### 1. 一般入試

###### (1) 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査等の成績および調査書の内容を統合して評価します。

###### (2) 後期日程（デザインコースおよび物質科学コースは除く）

大学入試センター試験、個別学力検査等の成績および調査書の内容を統合して評価します。

##### 2. 特別入試

###### (1) AO入試

###### ①デザインコース

第1次選抜では、提出された調査書、予め与えられたテーマに沿って作成された論述課題及び試験第1日目に専門適性を判定する課題の内容を総合的に評価し、第1次選抜合格者を決定します。第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、試験第2日目に課題説明を含めた面接を行い、それらの結果からデザインコースで学ぶための資質と適性を総合的に評価します。第2次選抜により、決定された合格内定者に対し、大学入試センター試験で指定する教科・科目の総合点が、75%に達した者を最終合格者として決定します。

###### ②物質科学コース（理数大好き学生選抜）

###### (ア) 方式I

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）活動等の課題研究で優れた成果をあげたものには、個別学力検査に代え、当該課題研究に関する発表等を含めた面接を行い、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。また、大学入試センター試験の成績に基づいて基礎学力の確認を行います。

###### (イ) 方式II

著名な国際科学コンクールの日本代表またはそれに準ずる成績をおさめたものには、個別学力検査に代え、受賞した研究に関する発表や口頭試問を含めた面接を行い、基礎学力、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。

###### (2) 先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

先進科学プログラムの入学者選抜の基本方針に基づき評価します。

### (3) 私費外国人留学生入試

外国人留学生に対して、提出書類、日本留学試験の成績および面接により総合的に判定します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲、各コースの専門分野における広い関心について評価します。一部のコースにおいては、日本大学連合学力試験の成績を利用した入学選抜も実施しています。

#### ・入学までに身に付けて欲しいこと

高等学校で履修した科目（大学入試センター試験で課している科目）について十分に理解できていることが必要です。数学を含む理系科目は工学の基礎となる科目なのでとても重要ですが、国語や外国語も将来、国内外の知見を収集し、成果を発信する上で重要です。論理的な思考で組み立てられた論文や報告書、発表や説明ができなければ、自らの考えを他人に伝えられないので、技術者・研究者としての価値がなくなってしまいます。また、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践する上で、もう一つ重要なこととして、「学ぶ」ことを楽しむ姿勢を身に付けてほしいと考えています。

なお、工学部では、工学共通の教育に加えて、専門性を深めていくために、9つのコースのうちいずれかに所属して学習していきます。それぞれのコースで学ぶに当たっては、特に以下のような能力や姿勢を身に付けておくことが望まれます。

建築学コース：建築・都市および社会の動向や芸術文化に関心を持ち、現代の様々な課題に対して意欲的に探究する姿勢。

都市環境システムコース：都市や環境をとりまく諸問題に関心を持ち、それを解決するための基礎的な学力と応用力をもつこと。

デザインコース：人間や生活環境全般についての興味や問題意識が旺盛で、絵を描くことやものを造ることによって自分のアイデアを表現する意欲。

機械工学コース：事物や現象から仕組みを物理的および化学的に洞察して数学的に表現する能力、幅広い分野の知識を統合して物事を総合的に捉える能力、ならびに機械工学への興味。

医工学コース：大学入試センター試験で課している科目の内容を十分に理解できていること。

また、医工学は人の命や健康と福祉に直接的・間接的に寄与しているという意識。

電気電子工学コース：電気電子工学の社会的使命に興味を示し、その科学技術の発展に寄与したいと強く希望する姿勢。さらに、そのための専門的な知識・能力を習得する意欲と、それを支える基礎的素養と能力。

物質科学コース：自然のさまざまな現象や人類の発明や発見について興味を深め、自ら積極的に物質科学における問題を探究する基礎となる数学、物理、化学の総合的な学力。

共生応用化学コース：化学を中心にした学問領域を学ぶための基礎学力と、将来、化学だけでなく他の分野との境界領域で仕事をするために化学以外の科目にも興味を持って学ぶ姿勢。

情報工学コース：情報工学の基盤である数学、物理の高い能力に加え、情報工学の応用先である他のすべての科目にも興味を持ち、かつ最先端の技術を常に追い求める姿勢。

# I 日本留学試験利用による選抜

## 1. 募集する学科・コース及び募集人員

募集学科・コース		募集人員	備 考
総合 工 学 科	建築学コース	若干名	出願の際、志願票及び受験票に志望するコースを記入してください。
	都市環境システムコース	若干名	
	デザインコース	若干名	
	機械工学コース	若干名	
	医工学コース	若干名	
	電気電子工学コース	若干名	
	物質科学コース	若干名	
	共生応用化学コース	若干名	
情報工学コース	若干名		

## 2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、かつ、次の(1)、(2)、(3)及び(4)のすべての要件を満たすもの（大学入試センター試験は免除します。）

(1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者（日本国永住者を除く。）

(2) 次のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年（2019年）3月までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(注)「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」は、次のとおりです。

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、18歳に達したもの及び平成31年（2019年）3月までに18歳に達するもの

イ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、かつ、18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月までに18歳に達するもの

ウ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び平成31年（2019年）3月までに修了見込みの者

② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月までに18歳に達するもの

③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月までに18歳に達するもの

④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月までに18歳に達するもの

⑤ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、18歳に達したものと及び平成31年（2019年）3月までに18歳に達するもの

⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年（2019 年）3 月までに 18 歳に達するもの

(3) 平成 28 年（2016 年）11 月以降に実施された「TOEFL」又は「TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R)」を受験した者

(4) 日本学生支援機構の平成 30 年度（2018 年度）日本留学試験（6 月実施分）において、各コースが指定する科目の合計点が 80%（850 点満点中 680 点）以上の者

**日本留学試験の受験科目（◎は必須，○は選択）**

コ ー ス	日本語	数 学		理 科			出題言語 (日本語 又は英語)
		コース 1 (文系数学)	コース 2 (理系数学)	物理	化学	生物	
建築学コース 都市環境システムコース デザインコース 機械工学コース 医工学コース 電気電子工学コース 物質科学コース 共生応用化学コース 情報工学コース	◎	—	◎	◎	◎	—	自由選択

### 3. 個別の入学資格審査

「2. 出願資格」の(2)の①～⑤に該当せず、⑥の要件で出願しようとする者は、出願に先立ち、次により入学資格審査の申請を行ってください。（「2. 出願資格」の(2)の①～⑤に該当する者は、入学資格審査の申請を行う必要はありません。）

(1) 入学資格審査申請期間 平成 30 年（2018 年）9 月 3 日（月）～9 月 7 日（金）〔必着〕

(2) 申請方法及び提出先

以下の書類を申請期間の 9 時から 17 時までに学務部入試課入試係へ直接持参してください。

やむを得ず、郵送する場合は、配達に要する日数を見込んで早めに書留速達等で【〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1 番 33 号 千葉大学学務部入試課入試係】あてに郵送してください。申請期間内までに到着しない場合は、受理しません。

認定の結果は、本人あて文書で通知します。9 月 27 日（木）までに届かない場合には、学務部入試課入試係まで問い合わせてください（電話：043-290-2182）。

ア 入学資格審査申請書（次ページをコピーしたものを使用してください。）

イ 成績証明書、修了（見込）証明書

ウ 出身学校の履修規程(カリキュラム)等（卒業に必要な授業科目・単位数がわかるもの）

エ 結果通知用封筒

長形 3 号の封筒を用意し、郵便番号、住所、氏名を記入し、82 円切手を貼ってください。  
（日本国内に住所を有しないときは知人等の日本国内の住所等を記入してください。）

※募集要項「2. 出願資格」の(2)の①～⑤に該当せず、⑥の要件で出願しようとする者のみ提出  
 (このページをコピーして使用してください。)

申請期間：平成 30 年 (2018 年) 9 月 3 日(月)～9 月 7 日(金) [必着]

## 平成 31 年度 (2019 年度) 千葉大学工学部私費外国人留学生入試 入学資格審査申請書

平成 31 年度 (2019 年度) 千葉大学工学部私費外国人留学生入試の出願に際し、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」の認定を受けたいので、所定の書類を添えて、入学資格審査の申請をします。

フリガナ		生年月日		性別	男・女
氏名		西暦		国籍	
		年	月		
日本国内の連絡先	〒	—	志望学科	志望コース	
	電話 ( )	—	総合工学科	コース	
	携帯 ( )	—			

学校教育歴 (小学校からの学校教育の全てを記入してください。)	区分	修業年限	出身学校名等	所在国	在籍 (入学～修了) 期間
	初等教育 (小学校)	年制			
	中等教育 (中学校)	年制			
	中等教育 (高等学校)	年制			
	上記以降				

(注 1) 現在の状況 (日本語学校在籍等) も含めて漏れのないように記入してください。

(注 2) 上記書類に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

(注 3) 誤って記入した場合には、二重線で消し、余白に記入すること。

(注 4) 出願手続をされる際に成績証明書、修了(見込)証明書を再度提出する必要はありません。

## 4. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

### (1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、工学部 学部学務グループに請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

### (2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

### (3) 事前相談の締切日

平成 30 年（2018 年）9 月 14 日（金）

### (4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1 番 33 号  
 千葉大学工学部 学部学務グループ  
 電話 043(290)3054

## 5. 出願手続等

(1) 出願受付期間 平成 30 年（2018 年）10 月 2 日（火）～10 月 9 日（火）まで（必着）

〔土・日・祝日を除く〕

### (2) 出願方法

(3)の①～④の出願書類を取り揃えて、(1)の出願受付期間の 9 時から 12 時、13 時から 17 時の間に工学部 学部学務グループへ直接持参してください。やむを得ず郵送する場合は、郵送用の封筒を各自で用意し、封筒のおもてに「私費外国人留学生入試 願書在中」と朱書の上、(1)の出願受付期間までに必着するように、工学部 学部学務グループあてに郵送してください。

### (3) 出願書類

①	志願票	この要項に添付してある所定の各用紙を使用してください。記入に当たっては、下記(注)及び各用紙に記載されている記入上の注意をよく読んで、黒のボールペンで自筆、楷書でていねいに記入してください。誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。なお、「※」の欄は記入しないでください。
②	受験票	(注) 日本国内在住の志願者は、志願票 うら面に、振込後の検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」(金融機関出納印が押印済のもの)を必ず貼り付けてください。日本国外在住の志願者で日本国内に知人等がない場合は、「クレジット決済を利用」欄にチェックしてください。
③	写真 2 枚	写真 2 枚(大きさ縦 4 cm×横 3 cm, 上半身, 正面, 脱帽で最近 3 カ月以内撮影の同じもの)を用意し、①志願票に 1 枚、②受験票に 1 枚貼り付けてください。
④	検定料振込証明書 「貼付用 (大学提出用)」 (金融機関出納印が 押印済のもの)	・日本国内在住の志願者の場合 出願する前に、この要項に添付してある所定の振込用紙により、検定料 17,000 円を日本国内の銀行等の窓口で振り込んでください。(振込手数料は本人負担となります。なお、ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また、ATM(現金自動預払機)は使用できません。)振込後、銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」を志願票 うら面の所定枠内に貼り付けてください。 (注) いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が本学所定の返還手続を行った場合は検定料の全額を、また、日本留学試験の成績請求により受験資格の不足が判明した者が本学所定の返還手続を行った場合は検定料のうち 13,000 円を返還します。返還手続の詳細については、工学部 学部学務グループに確認してください。 (返還手続の期限:平成 31 年(2019 年)3 月 29 日(金)17 時まで)



	<p>・日本国外在住の志願者で日本国内に知人等がない場合  この要項に添付の所定の振込用紙は日本国外の銀行では使用できません。日本国内に知人がいない場合は、次のとおりクレジットカード決済により検定料の払込手続をしてください。(クレジットカードの決済手続は日本国外在住者に限ります。)</p> <p>① 千葉大学ホームページ (<a href="http://www.chiba-u.jp/">http://www.chiba-u.jp/</a>) にある入試案内にアクセスし、&lt;海外からの検定料支払い&gt;より検定料払込手続を行ってください。</p> <p>② 検定料の払込手続終了後、千葉大学より申込内容確認のメールが送信されます。内容確認後、このメールを印刷して必ず出願書類と同封してください。</p> <p>(注1) 志願票 うら面の「振込証明書貼付欄」にある「クレジットカード決済を利用」欄にチェックしてください。</p> <p>(注2) クレジットカードによる検定料の払込受付開始は平成 30 年(2018 年) 9 月 18 日(火) からになります。</p> <p>(注3) 利用できるクレジットカードについては、検定料払込手続の際に以下 URL で確認してください。  <a href="http://www.chiba-u.jp/exam/kaigai_kenteiryuu/index.html">http://www.chiba-u.jp/exam/kaigai_kenteiryuu/index.html</a></p>														
<p>⑤ 成績証明書、 修了証明書 等</p>	<p>該当する証明書類を提出してください。</p> <table border="1" data-bbox="564 757 1401 1720"> <thead> <tr> <th data-bbox="564 757 944 792">出願資格</th> <th data-bbox="944 757 1401 792">提出書類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="564 792 944 994">1. 外国において学校教育における12年の課程の修了(見込)者</td> <td data-bbox="944 792 1401 994">成績証明書及び修了(見込)証明書(日本語訳を添付してください。また、大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 994 944 1281">2. 上記1に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</td> <td data-bbox="944 994 1401 1281">次のうち該当するすべての書類  (1) 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の成績証明書及び修了(見込)証明書  (2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程の成績証明書及び修了(見込)証明書  (3) 当該国の検定の合格成績証明書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1281 944 1384">3. 国際バカロレア資格取得者</td> <td data-bbox="944 1281 1401 1384">最終試験6科目の成績証明書及び資格証書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1384 944 1451">4. アビトゥア資格取得者</td> <td data-bbox="944 1384 1401 1451">一般的大学入学資格証明書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1451 944 1554">5. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者</td> <td data-bbox="944 1451 1401 1554">バカロレア資格試験成績証明書</td> </tr> <tr> <td data-bbox="564 1554 944 1720">6. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者</td> <td data-bbox="944 1554 1401 1720">ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル試験の成績評価証明書</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1 証明書の原本を提出できない場合は、<b>原本と写し(コピー)の両方を準備してください</b>(確認後に原本は返却します)。  2 科目名・成績評価等が符号・略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。  3 事前に個別の入学資格審査の際に成績証明書、修了証明書等を提出している場合は再度提出する必要はありません。</p>	出願資格	提出書類	1. 外国において学校教育における12年の課程の修了(見込)者	成績証明書及び修了(見込)証明書(日本語訳を添付してください。また、大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。)	2. 上記1に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの	次のうち該当するすべての書類 (1) 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (3) 当該国の検定の合格成績証明書	3. 国際バカロレア資格取得者	最終試験6科目の成績証明書及び資格証書	4. アビトゥア資格取得者	一般的大学入学資格証明書	5. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者	バカロレア資格試験成績証明書	6. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者	ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル試験の成績評価証明書
出願資格	提出書類														
1. 外国において学校教育における12年の課程の修了(見込)者	成績証明書及び修了(見込)証明書(日本語訳を添付してください。また、大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。)														
2. 上記1に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの	次のうち該当するすべての書類 (1) 我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (2) 外国において、高等学校に対応する学校の課程の成績証明書及び修了(見込)証明書 (3) 当該国の検定の合格成績証明書														
3. 国際バカロレア資格取得者	最終試験6科目の成績証明書及び資格証書														
4. アビトゥア資格取得者	一般的大学入学資格証明書														
5. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者	バカロレア資格試験成績証明書														
6. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者	ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル試験の成績評価証明書														

⑥	「TOEFL」又は「TOEIC L&R」の成績評価証明書	平成 28 年（2016 年）11 月以降に実施された Educational Testing Service (ETS) の実施する Test of English as a Foreign Language (TOEFL) 又は Test of English for International Communication Listening & Reading (TOEIC L&R) について、以下の書類を提出してください。 ・ TOEFL：「Examinee Score Report」（受験者用控えスコア票）の原本とその写し（コピー）（確認後に原本は返却します。） ・ TOEIC L&R：「Official Score Certificate」（公式認定書）の原本とその写し（コピー）（確認後に原本は返却します。）															
⑦	日本留学試験の成績通知書の写し（コピー）	平成 30 年度（2018 年度）日本留学試験（6 月実施分）の「成績通知書の写し（コピー）」を提出してください。 また、4 ページの「2. 出願資格」(4)に定める点数を満たしているかを確認してください。															
⑧	住民票	市区町村発行のもの（在留資格及び在留期間が記載されており、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないこと）。なお、出願時に海外に在住していて、住民登録していない者は提出不要です。															
⑨	パスポートの写し（コピー）	本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分の写しを提出してください。															
⑩	受験票送付用封筒	<p>・ 日本国内に受験票送付を希望する場合 この要項に添付してある所定の封筒に、日本国内の郵便番号、住所及び氏名を記入し、672 円分の郵便切手（簡易書留速達料金を含む。）を貼ってください。</p> <p>・ 日本国外に受験票送付を希望する場合（日本国内に知人等がない場合） EMS（国際スピード郵便）で送付します。【送付先の住所・氏名等を記載した封筒】（サイズは自由）を各自で用意し、以下の金額分の日本の郵便切手又は国際返信切手券（International Reply Coupon）を同封して願書等とともに提出してください。</p> <p><b>【各地域への送付に必要な日本の郵便切手の金額又は国際返信切手券枚数】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>日本の郵便切手</th> <th>国際返信切手券 必要枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>1,400 円</td> <td>11 枚</td> </tr> <tr> <td>北米・中米・オセアニア・中近東</td> <td>2,000 円</td> <td>16 枚</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ</td> <td>2,200 円</td> <td>17 枚</td> </tr> <tr> <td>南米・アフリカ</td> <td>2,400 円</td> <td>19 枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 日本の郵便切手を用意する場合には、上記所定の額分を用意してください。 ※ 国際返信切手券等は主な郵便局で取り扱っていますが、国によっては取り扱っていない場合があります。その場合には工学部 学部学務グループまでご相談ください。</p>	地域	日本の郵便切手	国際返信切手券 必要枚数	アジア	1,400 円	11 枚	北米・中米・オセアニア・中近東	2,000 円	16 枚	ヨーロッパ	2,200 円	17 枚	南米・アフリカ	2,400 円	19 枚
地域	日本の郵便切手	国際返信切手券 必要枚数															
アジア	1,400 円	11 枚															
北米・中米・オセアニア・中近東	2,000 円	16 枚															
ヨーロッパ	2,200 円	17 枚															
南米・アフリカ	2,400 円	19 枚															
⑪	あて名票	この要項に添付してある所定のあて名票に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。															

#### (4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の過程で収集した個人情報 は 入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

#### (5) 受験票の発送

受験票は、試験当日の注意事項などとあわせて、入学試験関係書類送付用封筒にて送付します。なお、10 月 22 日（月）までに届かない場合は、工学部 学部学務グループに問い合わせください。

## 6. 入学者選抜

### (1) 選抜方法

面接の結果並びに提出された書類（「TOEFL」又は「TOEIC L&R」の成績評価証明書、出身学校の成績証明書等）及び日本留学試験の成績を総合判定のうえ合格者を決定します。

### (2) 選抜日時、検査科目及び検査場

選抜日時 平成30年（2018年）10月27日（土）10時～

検査科目 面接（面接の際に、大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行います。）

検査場 工学部校舎

（注）当日は「日本留学試験受験票」（本学に提出した成績の実施分のもの）及び「平成31年度（2019年度）千葉大学工学部私費外国人留学生入試受験票」を必ず持参してください。

なお、受験に関する注意事項等の詳細については、受験票送付の際に同封するとともに、10月26日（金）9時に工学部掲示板へ掲示します。

## 7. 合格者発表

合格者受験番号を平成30年（2018年）11月16日（金）13時に工学部掲示板へ掲示するとともに、合格者に合格通知等を送付します。（掲示は11月20日（火）17時まで）

また、合格者受験番号を平成30年（2018年）11月16日（金）14時頃に千葉大学工学部ホームページ（<http://www.f-eng.chiba-u.jp>）へ掲載します。（掲載は11月20日（火）17時まで）

※ホームページにおいては、アクセスが集中しページが閲覧しづらい状況が生じる場合があります。その際は、しばらく時間を置いてから再度アクセスしていただくなどお願いします。なお、電話等による問い合わせには応じません。

## 8. 入学手続等

### (1) 入学手続日時及び場所

合格者は、平成31年（2019年）2月19日（火）の9時から11時30分、13時から16時の間に工学部 学部学務グループへ直接出向いて入学手続を行ってください。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので充分注意してください。

（注）入学手続には、「受験票（又は合格通知書）」の提示が必要ですので大切に保管してください。

### (2) 入学手続の際に納入する主な経費

入 学 料・・・・・・・・・・・・・・・・ 282,000 円

学生保健互助会費・・・・・・・・・・・・ 8,000 円（4年分）

学生教育研究災害傷害保険料・・・・ 4,660 円（4年分）（学研災付帯賠償責任保険Aコース含む）

（注）1 新入生の授業料は、入学後の5月（前期分）及び10月（後期分）に口座引落により納入していただきます。口座引落手続についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。なお、前期分・後期分授業料はそれぞれ267,900円（年額535,800円）です。

また、入学して2年目から、前期分授業料は4月が口座引落の月となります。

2 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

3 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ（<http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html>）をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先

学務部学生支援課 電話 043-290-2178

4 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

- 5 学生保健互助会費（疾病負傷の際に相互に救済し，進んで健康保持に寄与することを目的としております。）及び学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中，学校行事中，課外活動中，通学中における傷害事故に対して補償するものです。また，他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には，改定時から新保険料が適用されます。）は，平成31年（2019年）3月29日（金）までに郵便局又はゆうちょ銀行で払い込んでください。

詳細は，学務部学生支援課へ問い合わせてください。

電話 043-290-2220（学生保健互助会）

電話 043-290-2162（学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険）

## II 日本大学連合学力試験利用による選抜

### 1. 募集する学科・コース及び募集人員

募集学科・コース		募集人員	備 考
総合工学科	医工学コース	若干名	出願の際、志願票及び受験票に志望するコースを記入してください。
	共生応用化学コース	若干名	

### 2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、かつ、次の(1)、(2)、(3)、(4)及び(5)のすべての要件を満たすもの(大学入試センター試験は免除します。)

- (1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者(日本国永住者を除く。)
- (2) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成31年(2019年)3月までに修了見込の者
- (3) 平成28年(2016年)11月以降に実施された「TOEFL」、 「TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R)」又は「IELTS」を受験した者
- (4) 日中亜細亜教育医療文化交流機構の2019年度4月入学日本大学連合学力試験(上海又は台湾で実施のものに限る)における条件付一次合格者で、募集する学科・コースへの入学を希望し、かつ、合格後の留学前準備教育を修了(又は修了見込)のもの
- (5) 平成28年(2016年)11月以降に実施された「日本語能力試験」のN1又はN2レベルに合格(又は合格見込)の者

### 3. 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

#### (1) 提出書類

- ① 事前相談申請書(用紙は、工学部 学部学務グループに請求してください。)
- ② 医師の診断書(障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの)

#### (2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

#### (3) 事前相談の締切日

平成30年(2018年)9月14日(金)

#### (4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号  
千葉大学工学部 学部学務グループ  
電話 043(290)3054

## 4. 出願手続等

(1) 出願受付期間 平成 30 年 (2018 年) 10 月 2 日 (火)～10 月 9 日 (火)まで (必着)  
〔土・日・祝日を除く〕

### (2) 出願方法

(3)の①～⑩の出願書類を取り揃えて、郵送用の封筒を各自で用意し、封筒のおもてに「私費外国人留学生入試 願書在中」と朱書の上、(1)の出願受付期間までに必着するように、工学部 学部学務グループあてに郵送してください。

### (3) 出願書類

①	志願票	この要項に添付してある所定の各用紙を使用してください。記入に当たっては、下記(注)及び各用紙に記載されている記入上の注意をよく読んで、黒のボールペンで自筆、楷書でていねいに記入してください。誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。なお、「※」の欄は記入しないでください。
②	受験票	(注) 日本国内在住の志願者は、志願票 うら面に、振込後の検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」(金融機関出納印が押印済のもの)を必ず貼り付けてください。日本国外在住の志願者で日本国内に知人等がない場合は、「クレジット決済を利用」欄にチェックしてください。
③	写真 2 枚	写真 2 枚 (大きさ縦 4 cm×横 3 cm, 上半身, 正面, 脱帽で最近 3 カ月以内撮影の同じもの)を用意し、①志願票に 1 枚、②受験票に 1 枚貼り付けてください。
④	検定料振込証明書 「貼付用 (大学提出用)」 (金融機関出納印が 押印済のもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国内在住の志願者の場合 出願する前に、この要項に添付してある所定の振込用紙により、検定料 17,000 円を日本国内の銀行等の窓口で振り込んでください。(振込手数料は本人負担となります。なお、ゆうちょ銀行では振り込むことができませんので注意してください。また、ATM(現金自動預払機)は使用できません。)振込後、銀行等から受領した検定料振込証明書「貼付用(大学提出用)」を志願票 うら面の所定枠内に貼り付けてください。 (注) いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振り込み、出願しなかった者が本学所定の返還手続を行った場合は検定料の全額を返還します。返還手続の詳細については、工学部 学部学務グループに確認してください。 (返還手続の期限:平成 31 年(2019 年)3 月 29 日(金)17 時まで)</li> <li>・日本国外在住の志願者で日本国内に知人等がない場合 この要項に添付の所定の振込用紙は日本国外の銀行では使用できません。日本国内に知人等がない場合は、次のとおりクレジットカード決済により検定料の払込手続をしてください。(クレジットカードの決済手続は日本国外在住者に限ります。) ① 千葉大学ホームページ(<a href="http://www.chiba-u.jp/">http://www.chiba-u.jp/</a>)にある入試案内にアクセスし、＜海外からの検定料支払い＞より検定料払込手続を行ってください。 ② 検定料の払込手続終了後、千葉大学より申込内容確認のメールが送信されます。内容確認後、このメールを印刷して必ず出願書類に同封してください。 (注 1) 志願票 うら面の「振込証明書貼付欄」にある「クレジット決済を利用」欄にチェックしてください。 (注 2) クレジットカードによる検定料の払込受付開始は平成 30 年(2018 年)9 月 18 日(火)からになります。 (注 3) 利用できるクレジットカードについては、検定料払込手続の際に以下 URL で確認してください。 <a href="http://www.chiba-u.jp/exam/kaigai_kenteiryuu/index.html">http://www.chiba-u.jp/exam/kaigai_kenteiryuu/index.html</a></li> </ul>
⑤	成績証明書, 修了(見込)証明書 等	<p>証明書の原本及び日本語訳を添付してください。</p> <p>(注) 1 証明書の原本を提出できない場合は、原本と写し(コピー)の両方を提出してください(確認後に原本は返却します)。</p> <p>2 科目名・成績評価等が符号・略字等により表示されている場合は、その説明書を添付してください。</p> <p>3 大学卒業(見込)者は、大学の成績証明書及び修了(見込)証明書をあわせて提出してください。</p>

⑥	「TOEFL」, 「TOEIC L&R」又は 「IELTS」の 成績評価証明書	平成 28 年 (2016 年) 11 月以降に実施された Educational Testing Service (ETS) の実施する Test of English as a Foreign Language (TOEFL), Test of English for International Communication Listening & Reading (TOEIC L&R) 又は International English Language Test System (IELTS) について、以下の書類を提出してください。 ・ TOEFL: 「Examinee Score Report」(受験者用控えスコア票) の原本とその写し (コピー) (確認後に原本は返却します。) ・ TOEIC L&R: 「Official Score Certificate」(公式認定書) の原本とその写し (コピー) (確認後に原本は返却します。) ・ IELTS: 「IELTS Test Report Form」(成績証明書) の原本とその写し (コピー) (確認後に原本は返却します。)						
⑦	日本大学連合学力 試験の条件付一次 合格通知書の写し (コピー)	2019 年度 4 月入学日本大学連合学力試験 (上海又は台湾で実施のものに限る) における条件付一次合格者である旨の通知書の写し (コピー) を提出してください。						
⑧	日本語能力試験 (N1 又は N2 レベル) の 合格証明書の写し (コピー)	日本語能力試験 (N1 又は N2 レベル) に合格している者は、合格証明書の写し (コピー) を提出してください。 取得予定の者は、「取得予定である」旨を記載した書面 (様式は自由) を提出してください						
⑨	パスポートの写し (コピー)	本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分の写しを提出してください。						
⑩	受験票送付用封筒	<p>・ 日本国内に受験票送付を希望する場合 この要項に添付してある所定の封筒に、日本国内の郵便番号、住所及び氏名を記入し、672 円分の郵便切手 (簡易書留速達料金を含む。) を貼ってください。</p> <p>・ 日本国外に受験票送付を希望する場合 (日本国内に知人等がない場合) EMS (国際スピード郵便) で送付します。【送付先の住所・氏名等を記載した封筒】(サイズは自由) を各自で用意し、以下の金額分の日本の郵便切手又は国際返信切手券 (International Reply Coupon) を同封して願書等とともに提出してください。</p> <p>【各地域への送付に必要な日本の郵便切手の金額又は国際返信切手券枚数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>日本の郵便切手</th> <th>国際返信切手券 必要枚数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>1,400 円</td> <td>11 枚</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 日本の郵便切手を用意する場合には、上記所定の額分を用意してください。 ※ 国際返信切手券等は主な郵便局で取り扱っていますが、国によっては取り扱っていない場合があります。その場合には工学部 学部学務グループまでご相談ください。</p>	地域	日本の郵便切手	国際返信切手券 必要枚数	アジア	1,400 円	11 枚
地域	日本の郵便切手	国際返信切手券 必要枚数						
アジア	1,400 円	11 枚						
⑪	あて名票	この要項に添付してある所定のあて名票に、郵便番号、住所及び氏名を記入してください。						

#### (4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

#### (5) 受験票の発送

受験票は、試験当日の注意事項などとあわせて、入学試験関係書類送付用封筒にて送付します。なお、10 月 22 日 (月) までに届かない場合は、工学部 学部学務グループに問い合わせください。

## 5. 入学者選抜

### (1) 選抜方法

面接の結果並びに提出された書類（「TOEFL」，「TOEIC L&R」又は「ITELS」の成績評価証明書，出身学校の成績証明書等）及び日本大学連合学力試験の成績を総合判定のうえ合格者を決定します。

### (2) 選抜日時，検査科目及び検査場

選抜日時 平成 30 年（2018 年）10 月 27 日（土）10 時～

※詳細等は，志願者に改めてお知らせします

検査科目 面接（面接の際に，大学教育に必要な基礎学力に関する口頭試問を行います。）

検査場 選抜期日決定の際に，あわせてお知らせします。

（注）当日は「日本大学連合学力試験受験票」及び「平成 31 年度（2019 年度）千葉大学工学部私費外国人留学生入試受験票」を必ず持参してください。

なお，受験に関する注意事項等の詳細については，受験票送付の際に同封します。

## 6. 合格者発表

合格者受験番号を平成 30 年（2018 年）11 月 16 日（金）13 時に工学部掲示板へ掲示するとともに，合格者に合格通知等を送付します。（掲示は 11 月 20 日（火）17 時まで）

また，合格者受験番号を平成 30 年（2018 年）11 月 16 日（金）14 時頃に千葉大学工学部ホームページ（<http://www.f-eng.chiba-u.jp>）へ掲載します。（掲載は 11 月 20 日（火）17 時まで）

※ホームページにおいては，アクセスが集中しページが閲覧しづらい状況が生じる場合があります。その際は，しばらく時間を置いてから再度アクセスしていただくなどお願いします。なお，電話等による問い合わせには応じません。

## 7. 入学手続等

### (1) 入学手続日時及び場所

合格者に対して，別途連絡します。なお入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので充分注意してください。

（注）入学手続には，「受験票（又は合格通知書）」の提示が必要ですので大切に保管してください。

### (2) 入学手続の際に納入する主な経費

入 学 料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 282,000 円

学生保健互助会費・・・・・・・・・・・・ 8,000 円（4 年分）

学生教育研究災害傷害保険料・・・・ 4,660 円（4 年分）（学研災付帯賠償責任保険 A コース含む）

（注）1 新入生の授業料は，入学後の 5 月（前期分）及び 10 月（後期分）に口座引落により納入していただきます。口座引落手続についての詳細は入学手続の際に改めてお知らせします。なお，前期分・後期分授業料はそれぞれ 267,900 円（年額 535,800 円）です。

また，入学して 2 年目から，前期分授業料は 4 月が口座引落の月となります。

2 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には，改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

3 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は，千葉大学ホームページ（<http://www.chiba-u.jp/campus-life/payment/exemption.html>）をご覧ください。

入学料及び授業料免除に関する問い合わせ先

学務部学生支援課 電話 043-290-2178

4 納入した入学料は，いかなる理由があっても返還しません。



- 5 学生保健互助会費（疾病負傷の際に相互に救済し，進んで健康保持に寄与することを目的としております。）及び学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料（正課中，学校行事中，課外活動中，通学中における傷害事故に対して補償するものです。また，他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。保険料の改定が行われた場合には，改定時から新保険料が適用されます。）は，平成 31 年（2019 年）3 月 29 日（金）までに郵便局又はゆうちょ銀行で払い込んでください。

詳細は，学務部学生支援課へ問い合わせてください。

電話 043-290-2220（学生保健互助会）

電話 043-290-2162（学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険）

- 6 出願時に，2019 年度 4 月入学日本大学連合学力試験（上海又は台湾で実施のものに限る）における条件付一次合格者で，合格後の留学前準備教育を修了見込のものについては留学前準備教育を修了したことの証を，日本語能力試験の N1 又は N2 レベルに合格見込（取得見込）の者については合格したことの証を提出していただきます。それぞれの証を提出できない場合は入学許可できません。

## Ⅲ コースの紹介

### ■ 建築学コース

#### <芸術と技術の融合した建築物をつくる>

人間の暮らしに不可欠な衣・食・住のうち、建築は、人間の住まいを創造する仕事です。豊か・美しい・快い・安心できるなど、社会に対する人々の要望は様々ですが、建築にはこれらの要望を満たす具体性が求められます。社会基盤を構成する建築分野は、いつの時代においても不可欠であり、創造と進歩が常に求められる分野です。

建築学コースのカリキュラムは、歴史・設計・環境・設備・構造・構法・生産など、建築学は総合的な学問で多岐にわたります。将来、建築家を目指す人、設備や構造の技術者を目指す人など、様々な選択ができますが、建築を多面的に捉えられるように、また自分自身の適性を探れるように、3年生までは幅広い領域を学ぶよう構成されています。個性と創造力が重視される建築設計カリキュラムでは、少人数制の演習を実践し、個々にきめ細かな指導を行っています。建築設計の授業では、建築作品を各自設計し、最後にそれを教員・学生の講評会で発表します。構造の授業では講義で知識を学ぶだけでなく、実際に構造物を製作し、その強さを予測した上で、実際に力を加え変形を調べるなど、構造物の強さを体感するプログラムになっています。

4年生になると研究室に配属され、各専門領域に特化した研究を行なうこととなります。本学科では、大学院をも含めた6年一貫プログラムを組み、さらに高度な勉強・研究を行なうための環境を整備しています。また、欧州5大学と交換留学を行なうなど、国際交流にも力を入れています。

建築学コースは、高等教育機関の技術者教育プログラムを評価・認定する機関であるJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。これより、本コースの卒業生は、技術士の一次試験が免除されます。

1921年に設立された工芸図案科・木材工芸科を前身とする建築学コースには長い伝統があります。総合建設業・住宅産業・建材製造業・設計事務所・諸官庁・教育研究機関ほか、様々な分野において、数多くの卒業生が活躍しています。

建築学コースホームページ <http://www.archi.ta.chiba-u.jp/>

### ■ 都市環境システムコース

#### <人と環境が共存する都市を創る技術を拓く+究める>

現在、環境に過度な負荷を与えることなく、豊かで快適な都市生活を実現するための技術革新の必要性が認識されています。人と環境が共存する都市をつくるには、たとえば、エネルギーリサイクル、風力・太陽光発電、廃棄物の安全な利活用のための技術が必要になります。また、災害に強い都市をつくるための防災技術、安全で使いやすい情報通信システム、人口減少型時代に対応したコミュニティ形成など、様々な技術課題を多角的・総合的に捉える視野も大切です。都市環境システムコースは、都市環境のあり方を総合的に教育・研究する全国でも数少ないユニークなカリキュラムを用意し、21世紀の豊かな都市環境の創造に向けて、探究心と総合的視野を持ちつつ積極的に取り組む意欲のある人を求めています。

私たちは都市環境のあり方を考える上で、「場」と「流れ」という2つの概念を導入しています。「場」は「空間としての都市の性質」であり、「流れ」は「都市の成立に欠かせないすべての動的要素」と捉え、これらが調和する都市環境こそが私たちが目指すものです。また、総合的な視野、英知と実践力を以って「人としての尊厳を最も大切に考える都市環境システムの設計」を推進することのできる人材を育てることが本学科の使命であると考えています。そのための教育カリキュラムは、環境の基盤となるハード、人と人とのコミュニティや情報の流通を司るソフトに関する工学的技術を幅広く学び、確かな専門性を身に付けることができるように、1) 現場での体験型演習や実験、2) 実社会との連携、3) 少人数による実践的トレーニング、4) 常に新鮮で実践に生きる知識、5) 国際交流の5つを重視して構成されています。

当コースは、都市空間計画、都市基盤工学、都市環境工学、都市情報工学の4つの領域から構成され、都市計画、住環境計画、都市空間設計、都市建築計画、都市防災、都市インフラ、都市施設構造、リモートセンシング基盤、環境マネジメント、環境エネルギー、環境リサイクル、環境リモー

トセンシング，都市数理，都市情報，都市通信などのテーマについて，連携しながら教育と研究を進めています。

卒業後は，都市環境の形成に関わる，民間企業（製造，建設，情報通信など），コンサルタント（設計，経営など），シンクタンク，国や自治体，公共企業，教育研究機関，NPO（非営利組織），ベンチャー企業などで活躍しています。また，専門性を究め，知識と実践力の研鑽を目指して大学院（博士前期課程，博士後期課程）への進学の日もひらかれています。

都市環境システムコースホームページ <http://www.tu.chiba-u.jp/>

## ■デザインコース

### ＜感性と知性とを備えたデザイナーの養成＞

私達の生活その環境の環境に存在する問題点を解決し，より快適で美しいものを創造するデザインは，今，あらゆる領域で重要視されています。そのため，生活文化と深く関わりながら，技術と科学に裏打ちされた芸術性・人間性豊かなデザインを実現することのできる能力を有し，デザイン界をリードして国際的に活躍できる人材が求められており，その養成をめざしています。

入学された皆さんは，まず，教養教育としての普遍教育科目群，工学教育の基礎としての専門基礎科目群により一般基礎教育を学習します。また同時に，専門教育の基礎となる講義や演習によって，デザインに求められる教養としての知識や技術を身につけます。専門教育においては，2年次から3年次までの2年間にわたって用意された[工業デザイン，トランスポーターデザイン，コミュニケーションデザイン，環境デザイン，デザイン科学演習]という5つの演習科目を通して，基礎から応用までの一貫した教育を体系的に学ぶことができます。また，海外協定校の学生との国内及び，海外でのデザインワークショップ等，国際経験を積む機会も準備されています。以上の学習を終えると，4年間の集大成ともいふべき卒業研究，あるいは，デザイン総合プロジェクトを履修します。

皆さんを指導する教員は，大学院工学研究院・総合工学講座（教員組織）の中の，13の専門領域 [製品デザイン，システムプランニング，デザインマネジメント，材料計画，意匠形態学，コミュニケーションデザイン，人間情報科学，デザイン心理学，コマーシャルデザイン，環境デザイン，人間生活工学，デザイン文化計画，コンテクスチュアルデザイン] を基盤としてお互いに連携を取り合っています。我が国屈指の教員から構成されるいずれの領域においても，人間とその生活行動の安全・安心，生活の質と快適性の向上を目的として，美しい製品やシステムを「探求する」「構想する」「かたちづくる」ことができる高度デザイナーの育成をめざしています。さらに，学部を卒業した半数以上の人達は大学院に進学し，博士前期課程までの6年間，さらには博士後期課程までの9年間の一貫したより高度な勉学に励んでいます。

本コースの卒業生は，自動車，精密機械，家電製品，家具などの製造業，情報産業や地域開発産業等において，企画・設計・開発などの業務を行うデザイナーとして，また，全国デザイン系大学の教員や試験研究機関におけるデザイン研究者として，第一線でめざましい活躍をしています。

デザインコースホームページ <http://www.f-eng.chiba-u.jp/education/design.html>

## ■機械工学コース

### ＜身の回りから最先端までのあらゆる機械の設計＞

全ての工業製品は機械工学によって製作されています。身の回りの日常製品から遠い宇宙空間の製品まで，大型機械から原子サイズの構造物まで，輸送機械，情報機器，医療機械など全てが機械工学による製品です。

物理・化学・生物学的な現象を工学に応用し，新しい学問分野を開拓することも機械工学の重要な使命です。

工学の最先端を担っているのは機械工学なのです。

機械工学コースは大きく4つの領域に分けられます。材料・強度・変形教育研究領域，加工・要素教育研究領域，システム・制御・生体工学教育研究領域，環境・熱流体エネルギー教育研究領域です。材料・強度・変形教育研究領域では，機械に使用する新しい材料の創製・開発や材料特性を評価するための教育と研究を行っています。材料を機械に使用するためには，製品形状に加工しなければなりません。加工・要素教育研究領域では，新しい加工技術の開発研究や，機械を構成する

いわゆる機械要素に関する教育と研究を行っています。システム・制御・生体工学教育研究領域では、ロボットや車両、飛行体、福祉支援機器などの機械システムの知能化・自律化を実現することや、生物の最適運動や生命・生体機能におけるメカニズムの工学的応用を目的とする教育と研究を行っています。環境・熱流体エネルギー教育研究領域では、エネルギーの供給・利用・変換に関わる熱・流体工学の教育と研究を行っています。

このように、機械工学は広い領域を網羅しています。受験生の皆さんが取り組みたい学問領域は必ず、機械工学コースで取り扱う教育研究領域に含まれるはずです。

本コースはプロの技術者、研究者を育成することを目的としています。そのためには、数学、物理学などの基礎科目を十分に修得したうえで専門科目を学ぶことになります。そこで、基礎的な科目は1, 2年次で集中的に学ぶように配慮し、2年次から徐々に専門科目を勉強します。4年次になると各研究室に配属されて前述のいずれかの教育研究領域において、これまでの学習の集大成として卒業研究を行います。

本コースの卒業生は、機械技術者として様々な企業や組織の第一線で活躍しています。近年、本コース卒業生の過半数は、高度な知識と自ら問題解決する能力を養うために、本学あるいは他大学の大学院（博士前期課程）に進学します。さらに最先端な研究を行う教員のもとで、より一層学究を極めるために、博士後期課程に進学する道も用意されています。

機械工学コースホームページ <http://www.em.eng.chiba-u.jp/~mech/>

## ■ 医工学コース

### <健康・医療・福祉に寄与するエンジニアの養成>

人類が過去に経験のない超高齢化社会を迎えた我が国では、医療、福祉、健康に関する広範な知識と高い実践力を有する工学技術者が社会から求められています。医工学コースでは、この社会的要請に応える人材を少人数教育環境のもとで育成しています。

工学の基礎となる数学や物理などの基礎科目を低学年で修得した後、高学年になるにつれて情報、画像、電子、機械工学の技術体系を母体とする医工学分野の専門科目群を勉強していきます。また、4年次になると研究室に配属され、これまでの学び中心の科目とは異なった、学生の主体性・積極性を育てるための卒業研究を行います。具体的には、研究を通して問題発見能力、問題解決能力、論理的思考能力、コミュニケーション能力などを総合的に身に付ける訓練を行います。研究分野の例としては、CTやMRI、超音波、PET、眼底カメラ、内視鏡など、各種診断装置で得られる画像及び信号の処理方法や収集方法の研究開発、低侵襲かつ安全性を高めた手術技術や支援機器の研究開発、高齢者や障害者の生活を保護・介護する機器の研究開発、医療機器の科学的安全性評価などが挙げられます。

医療技術には、工学・理学から医学・薬学・看護学までの幅広い科学技術分野が関与しているため、学際性・総合性が強く求められています。そのため、本コースのプログラムは、工学部の他コースはもとより、フロンティア医工学センター、医学部、看護学部、薬学部、理学部など他の教育研究組織と連携し、広い視野に立つ医工学技術者の育成を目指しています。この中には、医師でもある医学系教員から講義や卒業研究の指導を受ける場合もあり、医療現場を身近に感じながら実践的な教育を受けることができます。このような工学と医学とが日常的に深く関わり合った教育環境は、国内でも数少ない環境の一つと言えるでしょう。

本コースでは、例年、卒業生の7割前後が大学院に進学しています。そのほとんどは本コースの上に設置された、基幹工学専攻医工学コースに進学しており、これによりコースから大学院まで一貫したカリキュラムによる教育が可能になっています。

本コースの卒業生は、医療・福祉系企業はもちろんのこと、電子、情報、通信、精密機械、サービス業、官公庁等の幅広い業種に就職し、第一線で活躍しています。

医工学コースホームページ <http://www.tms.chiba-u.jp/>

## ■ 電気電子工学コース

### <電気電子工学の基礎学問から先端的応用分野まで>

電気電子工学は20世紀後半から急速な発展を遂げ、電気機器、情報通信、電気・ガス、精密機械、運輸、輸送機器、化学プラント、医療機器、公共システムなど、あらゆる工学分野に深く浸透

した最重要基盤技術として社会を支えています。現代社会は電気電子工学の体系に基づいた技術によって支えられていると言っても過言ではありません。本コースでは、このような実社会において活躍できるための電気電子工学に関する基礎学問の素養を身に付けるとともに、他の分野や工学以外の異なるバックグラウンドの人材と協調して新しい技術を創造できる学際的な素養を持った人材の養成を目指しています。

本コースでは、基礎的学問である電磁気学、回路理論を出発点として、高度情報化社会の根幹を担う情報通信の分野から、文明社会を支えるエネルギー変換とその利用技術、および様々な半導体集積回路や材料、最新の電子工学の進展に裏付けられたコンピュータハードウェアやロボット制御に至る分野まで、基礎から応用までの広範な分野の教育・研究を総合的に実践していきます。社会の要請なども考慮して、電気電子工学の専門教育を展開して行くと共に、他分野にも向かっていける本当の学際性を涵養し、旧来の電気電子工学の枠にとらわれない視野の広い学生の育成を目標としています。

本コースの研究組織は、電気システム工学、電子システム工学、情報通信工学の研究領域から構成され、世界トップレベルの研究教育拠点形成を目指して活発に活動しています。なお、4年次に進級すると研究課題を選択して研究分野に所属し、教育に加え研究の第一線で活躍する教員のもとで知的興味を喚起される卒業研究を行います。

本コースの卒業生は、現代産業に必要不可欠な基盤を担っており、あらゆる産業領域の企業や組織の第一線で活躍しています。さらに、最近では卒業生のおよそ7割から8割が、高度な知識と自ら問題解決する能力を養うために、本学、あるいは他大学の大学院に進学し、修了後は産業界ばかりでなく公的研究機関などの広い分野で活躍しています。さらにはより一層学究を極めるために博士後期課程に進学する道も用意されており、多くの先輩が第一線の研究者や技術者として活躍しています。

電気電子工学コースホームページ <http://www.te.chiba-u.jp/>

## ■物質科学コース

### ＜物理学/化学の枠組みを超えて、物質の本質に迫り、その機能を応用する＞

工学の数多くのイノベーションの成果は、物質・材料を介して目に見える形へと実現されていきます。近年の科学技術の進歩により、原子や分子、その集合体をより精密に操作することが可能になりつつあります。これによって、さまざまな新しい現象が見つかり、新しい形での応用ができるようになってきました。これらは広くナノテクノロジーと呼ばれていますが、物理学や化学を包含し、現在も大きく発展し続けている境界的な科学・工学領域です。そして、たとえば新しい電子デバイスや画像デバイスが、このような技術に基づいて生まれてくることが期待されています。物質科学コースは、物理学および化学を基礎としつつ、その枠組みを超えて、さまざまな物質の性質・機能を探り、またそれを工学的に応用・活用することを目指しています。物質についての理解は現代の科学の根幹をなすものであり、高度情報化社会の基盤を支える物質についての科学を、深く掘り下げると同時に幅広い眼で全体を俯瞰し、また応用展開できる人材を育成する—これが本コースの目標です。

物質科学で学ぶべき対象は極めて広範囲にわたるため、物理学的な側面からの教育プログラムと、化学的側面からの教育プログラムがあり、学生はいずれかを選択します。これらのプログラムは独立なものではなく、共通して学ぶ部分も多く、相互に連携したものです。どちらも、物質科学の理解を通して広く自然科学や工学技術一般についても深い理解を得られるように構成されています。これらによって、分野の壁を越えた科学的方法論（思考法、探求法）と、それらの工学的応用価値や社会的意義を深く理解し、実践できる技術者、研究者を育てます。特に、4年次で行われる1年間の卒業研究では、コース教員の研究室で研究チームの一員として最先端の研究に加わります。

物質科学コースホームページ <http://www.tp.chiba-u.jp/ms/>

## ■共生応用化学コース

### ＜バイオと環境をキーワードとする新しい応用化学＞

21世紀の「化学」は単に科学技術を発達させるだけでなく、環境を保全しつつ地球資源を有効に活用して人類の真の福祉に貢献することが求められています。そのためには、環境に調和する化

学プロセスの開発や、環境に適合した新物質の創製が不可欠です。例えば、生物が有する外部刺激応答性などの機能を化学の立場から理解し、それらの機能を超越するプロセスや物質を実現することです。このような技術開発こそが人類が環境と調和し、他の生命と共生していくことを目指すものであり「新しい応用化学」になります。このような観点に立脚し、本コースは新しい化学及び化学プロセスの開発を担う人材の養成を目的にしています。

共生応用化学コースでは、化学はもちろんのこと、専門分野の基礎となる数学・物理学・生物学などの素養を1年半の共通基礎教育により涵養し、その後の専門教育では化学および化学に関連する工学を幅広く修得できるようになっています。新しい機能や高度な性能を持つ物質を多角的な視点から開発することを学ぶ応用化学科目群、生体機能を代替あるいは模倣する人工材料の設計や構築に関して学ぶ生体関連科目群、環境適合性プロセスや材料について学ぶ環境調和科目群など多様な授業科目が履修でき、個性と自主性を重視したカリキュラムとなっています。

3年次後半から配属される研究室には「バイオ機能化学領域」にバイオプロセス化学、バイオマテリアル、ソフト材料化学、環境調和高分子材料、「環境調和分子化学領域」に精密有機化学、環境調和有機合成、エネルギー変換材料化学、「無機・計測化学領域」にセラミックス化学、極限環境材料化学、計測化学、環境化学、「資源プロセス化学領域」に触媒化学、表面電気化学、資源反応工学の計14の研究室があり、さらに、千葉大学共用機器センターを配属先として選ぶこともできます。セミナーや卒業研究を通じて先端的な研究を行い、基礎と専門の学力及び広い視野を身に付けます。

本コースの卒業生は、化学、材料、電子、機械、情報、医薬、エネルギーなど、幅広い産業界での活躍が期待されています。また、より高度な教育・研究を行う大学院（博士前期課程、博士後期課程）が用意されています。

共生応用化学コースホームページ <http://chem.tf.chiba-u.jp/>

## ■情報工学コース

### <情報技術で快適で安心な社会を支える>

私たちの生活の様々な場面において、「情報」は電気やガス、水道と同じように社会基盤として必要不可欠なものになりました。自動運転や音声翻訳などの身近なことから、子供や高齢者を見守るスマートセンシングシステムまで、情報が豊かで快適な社会を支える基盤になっています。一方で、貴重な情報を盗まれないよう頑強なセキュリティシステムを構築することも重要です。情報工学コースでは、このような快適で安心な社会を支えるために、情報を数理的に把握する基礎的領域から、ハードウェア・ソフトウェア技術、マルチメディア技術などの応用領域まで、人と情報化社会の調和を考え、情報の獲得・記憶・処理・伝達・表現のための知識・技術を習得し未来の情報社会を創成し支えていく人材を育成します。

本コースでは専門知識として情報工学とその応用に関する知識を持ち、それを有効に社会に生かすための社会性、倫理観、国際的にも通用するコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を有し、これらを統合して問題を解決できるエンジニアリングデザイン能力を備えた技術者・研究者を育成します。専門知識を得るための科目は「情報数理」「計算機・ネットワーク工学」「ソフトウェア工学」「知的情報科学」「マルチメディア情報処理」の5本の柱および情報・数学・物理の基礎科目から構成され、情報にかかわる数理、コンピュータのハードウェア・ソフトウェア、セキュリティ、ネットワークからマルチメディア情報処理までの幅広い領域を体系的に学びます。また、社会性・倫理観、国際的コミュニケーション能力を身に付ける科目として、工学倫理、情報工学基礎英語があります。プレゼンテーション能力およびデザイン能力は実験および卒業研究で身に付けます。

情報工学コースで学んだ人は、人に優しい情報社会を構築する担い手として、産業界の多方面から期待されており、卒業生は、情報に関わる総合電機メーカー、通信事業者、コンピュータ系企業、ソフトウェア開発企業、映像メディア関連企業等における研究・開発に携わっています。さらに、大学院教育も充実しており、専門的な科目を学び、深い研究活動を行います。これにより、より深い専門知識を修得し、経験を積むことができ、社会のより重要な場面にて活躍することが期待されます。

情報工学コースホームページ <http://www.tj.chiba-u.jp/ie/>

## IV 入学後の教育について

工学部では、次のとおりコースごとに入学者を募集します。出願したコースで合格すれば「総合工学科」の志願したコースに配属します。また、1年次の教育は、複数のコースを束ねた4つの系（「建築・デザイン系（約160名）」、「機械・応用物理系（約130名）」、「電気・情報系（約190名）」、「応用化学・環境系（約140名）」）を設置して実施し、2年次進級時から各コースに正式に配属して専門的な教育を行います。

### (1) 募集人員及び系について

コース	募集人員			系(1年次の教育)			
	一般入試		特別入試	建築・デザイン系	機械・応用物理系	電気・情報系	応用化学・環境系
	前期日程	後期日程	A〇入試				
建築学コース	(50)	(19)	-	◎	-	-	-
都市環境システムコース	(37)	(15)	-	○	○	○	○
デザインコース	(44)	-	20	◎	-	-	-
機械工学コース	(55)	(19)	-	-	◎	○	-
医工学コース	(30)	(9)	-	-	○	○	-
電気電子工学コース	(55)	(19)	-	-	○	◎	-
物質科学コース	(68)	-	10	-	◎	○	◎
共生応用化学コース	(70)	(24)	-	-	-	-	◎
情報工学コース	(57)	(19)	-	-	-	◎	-
計	466	124	30	(160)	(130)	(190)	(140)

各コースの募集人員〔( )内の数〕及び系ごとの人数はおおよそその人数であり、志願状況等で増減します。

また、系(1年次の教育)において、◎は各コース配属者の大多数が所属する系を示します。また、○は各コース配属者の一部が所属する系を示します。系の所属希望は、出願後の受験票等入学試験関係書類送付時に説明資料を送付します。

### (2) 系についての説明

入学後に履修する英語科目、初修外国語科目、情報リテラシー科目、教養コア科目、数学、物理、化学などの授業科目に加えて、一部の専門科目の時間割は系ごとに決められ、それに従って履修することとなります。1年次の授業については、工学全体を理解するための授業（工学基礎セミナーⅠ・Ⅱ）、所属する系に関係するコースを中心に各コースの専門分野について理解を深めるための授業（工学入門A～C）を実施し、2年次以降のコース配属や専門的な授業の履修に繋がるよう配慮がなされます。

なお、私費外国人留学生入試での入学者はコースの変更はできません。

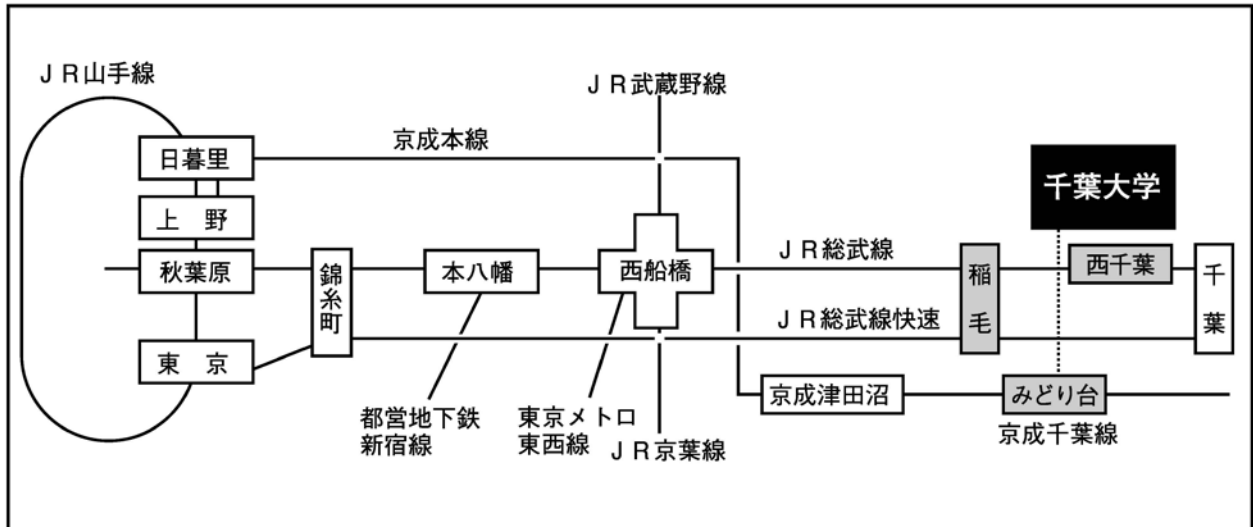
**建築・デザイン系**：建築学コース、都市環境システムコース、デザインコースに配属された学生が所属する系です。

**機械・応用物理系**：都市環境システムコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コースに配属された学生が所属する系です。

**電気・情報系**：都市環境システムコース、機械工学コース、医工学コース、電気電子工学コース、物質科学コース、情報工学コースに配属された学生が所属する系です。

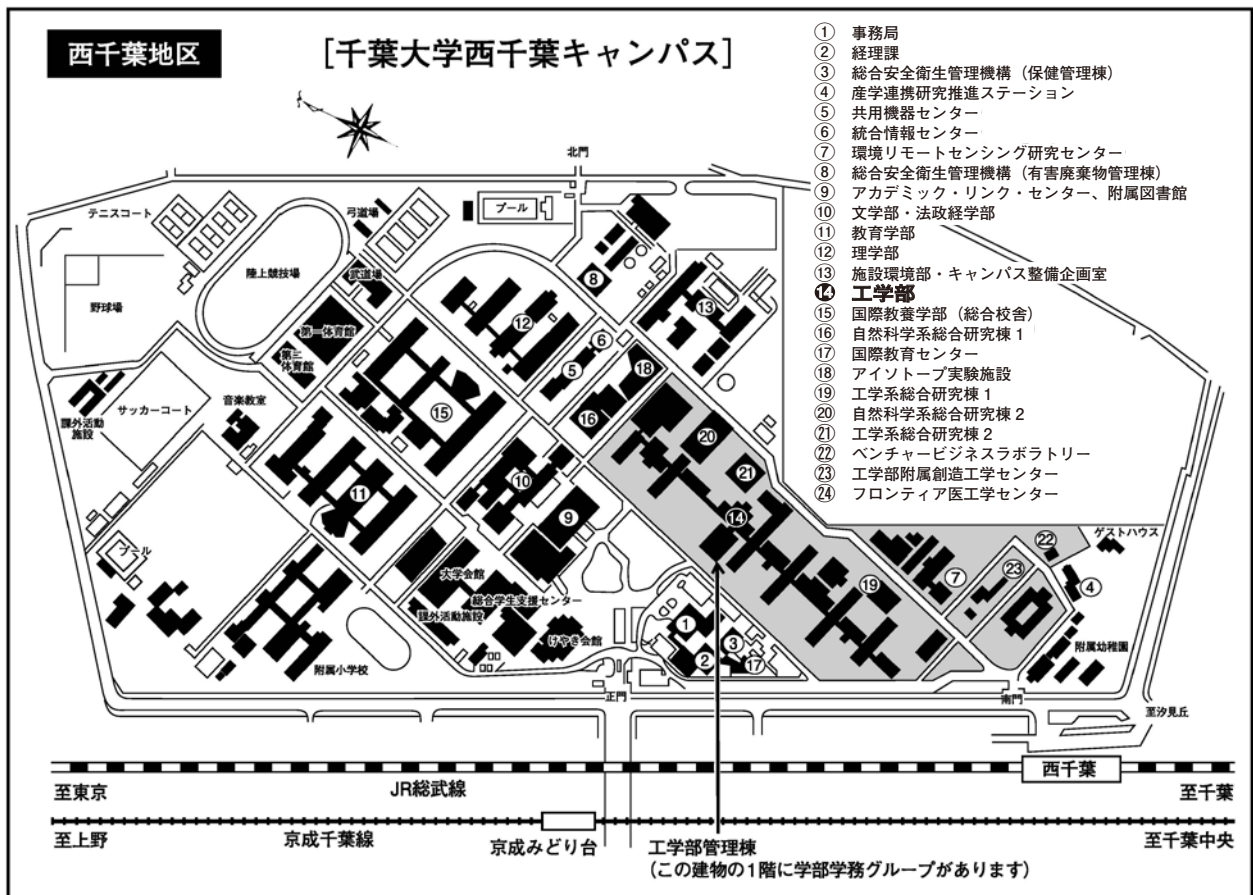
**応用化学・環境系**：都市環境システムコース、物質科学コース、共生応用化学コースに配属された学生が所属する系です。

# 千葉大学案内図



## 【工学部への交通】

- ① JR総武線「西千葉」駅下車徒歩5分（秋葉原～西千葉間48分）  
JR総武線快速利用の場合は「稲毛」駅乗換（東京～稲毛間40分、稲毛～西千葉間3分）
- ② 京成千葉線「みどり台」駅下車徒歩10分



## 千葉大学工学部 学部学務グループ

〒263 - 8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

電話 043 (290) 3054

問い合わせは月曜日から金曜日(祝日等を除きます。)の9時から17時まで